

領域1 (栄養・食生活)	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
	1	食事作りを楽しむ	14	10	14	1	71.4%	
	2	朝食の欠食を減らす	5	4	7	0	80.0%	
	3	健康的な食事の取りかたに心がける	12	9	14	0	75.0%	
	4	外食を楽しむ	6	5	5	0	83.3%	
	計		37	28	40	1	75.7%	

「食」をテーマとした健康づくりのための普及啓発事業が増加しただけでなく、「食事」を楽しむためのイベントに取り組む努力がみられた。特に子供に関わる関係機関では、「食育」を意識した取り組みもみられ、楽しみながら健康づくりに取り組めるような工夫を積極的に行っていた。

領域2 (運動)	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
	1	身体を動かす必要性を理解できる	9	4	6	1	44.4%	
	2	運動習慣を身につける	7	3	8	2	42.9%	
	3	運動を楽しく続けていく	16	10	22	1	62.5%	
	4	運動習慣を周りの人たちに広めていく	2	2	5	0	100.0%	
	計		34	19	41	4	55.9%	

市民へは運動に接する機会の提供として、各種運動教室を開催。参加者が増加し、運動習慣者の増加につながった取り組みもおこなわれており、今後の取り組み拡大が期待される。

領域3 (こころ・休養)	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
	1	ストレスや悩みについて、気軽に相談できる	8	5	11	2	62.5%	
	2	自分なりのストレス対処方法を身につける	6	4	9	1	66.7%	
	3	より良い交流やコミュニケーションのあり方を考える	14	10	13	2	71.4%	
	4	自分の状態にあった睡眠を確保し、十分な休養をとる	4	2	2	1	50.0%	
	5	自分の暮らしにあった余暇と時間を確保する	6	5	7	1	83.3%	
計		38	26	42	7	68.4%		

ストレスへの気づきと対処方法の大切さ、暮らしにあった余暇に対する認識は拡大してきている。睡眠や休養の確保については、個別性が高い内容のため、把握方法も含めた検討が必要である。

領域4 (歯・口腔)	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
	1	自己管理できる	8	7	11	4	87.5%	
	2	かかりつけ歯科医とともに健康管理する	3	3	5	1	100.0%	
	3	むし歯や歯周病のリスクを減らす	5	5	6	1	100.0%	
	4	健診をうける	7	7	8	1	100.0%	
	5	必要な情報が提供される	14	7	12	3	50.0%	
計		37	29	42	10	78.4%		

新規の取り組みが各項目でみられることは評価できる。今後は、介護予防の点からも口腔衛生は重要であり、高齢者施設に対する情報提供を積極的に行うことが重要である。

領域5 (たばこ)	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
	1	未成年者の喫煙をなくす	17	9	12	3	52.9%	
	2	喫煙者をへらす	8	6	10	1	75.0%	
	3	公共の場での分煙を徹底する	14	11	25	5	78.6%	
	計		39	26	47	9	66.7%	

未成年者への知識の普及・啓発については新たな取り組みもみられている。また、分煙・禁煙についても各施設で積極的に推進されている。健康増進法の施行に伴う各企業等の禁煙分煙への取り組みの把握を積極的に行い、禁煙支援の推進に向けた周知活動をすすめる必要がある。

	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
領域6 (アルコール)	1	未成年の飲酒をなくす	11	7	7	1	63.6%	未成年者の飲酒をなくすために、H16中には、市内よりお酒の自動販売機は撤去された(ホテル・旅館は除く)。また、免許証等で年齢が確認できる改良型自動販売機により、未成年には販売されない対策が行われている。未成年者の飲酒は、薬物依存のきっかけとなる危険性も高く、アルコール以外の薬物の害も含めた予防対策が必要である。健康維持のため節度ある飲酒行動がとれるようにという目標に対しては、今後は生活習慣病との関連の中での取り組みが必要である。
	2	健康維持のため節度ある飲酒行動がとれる	7	6	7	0	85.7%	
	計		18	13	14	1	72.2%	

	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
領域7 (生活習慣病)	1	生活習慣病について理解する	8	6	10	1	75.0%	生活習慣病予防について健康教育等の取り組みをおこなっているが、今後は職域も含めた総合的な取り組みが必要である。
	2	健康管理をする	8	5	11	1	62.5%	
	計		16	11	21	2	68.8%	

	下位目標 番号	下位目標	対象 施設	実施 施設	取り組んだ 項目	(うち新規 項目)	実施率	領域のまとめ
領域8 (環境)	1	きれいな空気と水が確保される	4	2	13	0	50.0%	快適なスペースを作る、交通安全に配慮したまちづくりでの目標では、新規の取り組みがみられた。これらの目標の具体的な活動として、各施設において植物を配置し緑の環境を整備することや、潤いのある環境に関心が払われていること、自動車での通学禁止や交通安全教育をとおして交通安全についての意識向上への取り組みが見られた。また、バリアフリー化に向けた取り組みも見られるが、施設のバリアフリー化には費用がかかるため、今後普及をすべき課題となっている。
	2	快適なスペースをつくる	9	7	18	3	77.8%	
	3	交通安全に配慮したまちづくり	6	5	8	1	83.3%	
	4	冬でも快適な暮らしができる	3	3	9	0	100.0%	
	5	ゴミの排出量を減らす	13	8	16	1	61.5%	
	6	高齢者や障害者の活動の場を広げる	4	4	13	0	100.0%	
	7	バリアフリーやユニバーサルデザインへの取り組みがなされる	6	3	12	0	50.0%	
	8	運動しやすい環境をつくる	2	1	2	0	50.0%	
	9	保養のための環境をつくる	1	1	2	0	100.0%	
	計		48	34	93	5	70.8%	

全領域	
対象施設(領域重複)	267
実施施設(領域重複)	186
取り組んだ項目	340
(うち新規項目)	39
実施率	69.7%